

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度	令和元年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立星が丘デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人 上溝緑寿会
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市立高齢者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の介護を必要とする高齢者に対し、入浴、給食その他のサービスを提供することによって、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担を軽減し、もって高齢者の福祉の増進に関与するため。
施設概要	高齢者が自宅から通い、入浴、食事などの日常生活の世話や機能訓練を受けられる施設 所在地 相模原市中央区星が丘4-9-14 星が丘住宅1階 構造 鉄筋コンクリート構造 延床面積 594㎡
施設所管課	健康福祉局地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目（単位）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数合計（人）	5,968	6,023	5,868	6,260	6,107		
利用料金合計（円）			9,467,823	10,536,048	10,573,292		

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の達成度は87.6%であり、評価基準により、Cとする。 中重度者を支えることを施設の目標として掲げ、積極的に受け入れ、中重度者向けのケアプログラムを作成し、実践している点は評価できる。 施設の周知等、利用率向上に向けた工夫を行う姿勢がみられるため、さらなる利用率向上に向けて、周知に努めていただきたい。

指標1	
指標名（単位）	利用率（%）
指標式と指標の説明	年間利用者数 ÷（1年間の営業日数 × 利用者定員数） ※利用者定員数に対する年間の利用割合

項目（単位）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値（%）	100.0	100.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値（%）	64.2	65.0	75.5	81.3	79.3		
達成度（%）	64.2	65.0	79.5	85.6	87.6		

※制度上、定員制限（25名）があり、実績値100%が最大値となる。

※令和元年度から実績値が100%となった際、評価Sとなるように達成度を調整するため1.05を乗じている。

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的に即して利用者のための活動を適切に実施していれば「○」、その中で、特に市立施設であるという特性を鑑み、地域住民や園児等の世代間交流の場を広く創出する事業で、定期的、継続的に実施している場合や多くの方々と交流する事業については、効果的かつ施設の活性化に寄与する取組として「◎」と評価する。 ・「地域交流スペース」を積極的に活用し、地域住民への開放やイベントを通じた地域交流を行っており、利用者との地域の方との交流を積極的に図っていることは市立施設として高く評価できる。 ・好評を得ている事業については、引き続きニーズに合わせて実施していただきたい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
星が丘カフェ	週1回	星が丘高齢者支援センターの協力のもと、地域の方との交流の機会を確保。毎回3名前後の方が地域の方と交流し好評を得る	◎
卓球の集い	不定期	地域交流室での卓球へ参加。利用者からも『今日はやるの?』など楽しみにされている様子がある。	○
機能訓練外出	4月 1月	お花見、初詣を兼ねた屋外での外出活動を実施。4/1～の4日間、1/18～の6日間実施し参加利用者延べ79名。	○
軽食創作活動	5～6月	当日のおやつをご自身で創作していただく活動へ参加。参加者延べ117名。参加者からは好評を得る。	○
保育園児交流	7月	近隣の保育園児と交流を行う。年長園児16名。ご利用者19名参加。お遊戯見学等で地域の児童と交流を行う。	◎
星が丘地区お神輿見学、お囃子見学	7月 1月	星が丘地域の住民によるお神輿見学、お囃子連による演舞見学を開催。参加利用者延べ34名	○
納涼祭	8月	地域ボランティアの協力を得て6日間に渡り開催。ボランティア延べ109名。参加利用者117名。やきそば等の出店や射的等の遊戯を開催。	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値(市が実施した平成28年度の高齢者等実態調査における居宅サービス利用者満足度)である89.8%を上回っており、評価できる。 ・満足度調査「事業所のサービス全体への満足度」において有効回答率の割合が前年度の61%に比べ、今年度は87%と大きく増加している点は評価できるが、調査配布数が少ないため、さらに配布件数を増加させることを検討していただきたい。 ・「3. 全体的に満足しているが、一部改善してほしい点がある」を選択された方もいるため、その原因を究明し、今後の運営に生かしていただきたい。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	実施期間に利用のある利用者アンケートを配布し、無記名方式で記入した用紙を職員が回収して集計をする。 配布数: 配布数55通、回収数47通、回収率85.5% 「事業所のサービス全体への満足度」において、「全体的にとっても満足である」「全体的に満足である」の合計値の、無回答を除いた有効回答数における割合。
目標値の基準	平成28年度に実施した本市の高齢者等実態調査における、デイサービスを含む居宅サービス利用者の満足度。

項目（単位）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値（%）	77.0	89.8	89.8	89.8	89.8		
実績値（%）	80.0	97.6	100.0	100.0	90.2		
達成度（%）	103.9	108.7	111.4	111.4	100.5		

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
意見箱の設置	通年	デイサービス正面玄関内に意見箱を設置し地域住民、利用者より意見を受け付けている

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	本体事業収支、全体収支ともに黒字であり、団体本体の経営状況について特段の問題はないため、S評価とする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入 (a)		54,001	57,872	57,809
	利用料金収入	9,468	10,536	10,573
	事業収入	44,482	47,212	47,098
	その他の収入	51	124	138
支出 (b)		51,455	51,141	53,783
	人件費	33,355	33,411	34,150
	事務費	11,814	7,672	8,450
	事業費	6,286	10,058	11,183
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		2,546	6,731	4,026
自主事業収入 (d)				
自主事業支出 (e)				
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		0	0	0
事業活動収支 【(c)+(f)】 (g)		2,546	6,731	4,026
その他収入 (h)		0	738	0
その他支出 (i)		4,523	4,475	3,496
全体収支 【(g)+(h)-(i)】		-1,977	2,994	530
備考	その他支出とは、主に拠点区分間繰入金である。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和2年10月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

定員25名に対し平均利用者数19.8名/日となっており、利用数が伸びていない。新規利用者19名、終了利用者数22名と新規利用者数減が要因の1つと考えられる。また昨年度比で要介護2の利用者が592名の減少、要介護4の利用者は450名増と中重度比の上昇が顕著であり、心身状況等の変化があった際はすぐに入所になってしまうケースがあり、稼働率に影響している。新規利用者については地域に密着している活動を行っているため、星が丘近隣の方が中心だが、上溝地区などを加えて広範囲での受け入れを行っている。新規利用者を安定的に確保することと、中重度者の複数回利用を無理なく勧めることにより、稼働率の向上と在宅生活支援を行っていくことが目標であり、今後さらなる中重度化や人材不足等に対応するため、システムの変更や介護支援専門員との密な連携が必要であると考えられる。

9 所管課意見

- ・「地域交流スペース」を積極的に活用し、地域住民への開放やイベントを通じた地域交流を行っており、利用者との交流を積極的に図っていることは市立施設として高く評価できる。
- ・中重度を支えることを施設の目標として掲げ、中重度者向けのケアプログラムを作成し、実践している点は評価できる。引き続き中重度者の受入れに努めていただきたい。
- ・利用者満足度調査において、今回は「3. 全体的に満足しているが、一部改善してほしい点がある」を選択された方がいるため、原因を究明し、改善に努めていただきたい。

10 選考委員会意見

- ・利用者の介護サービスの向上・充実を視野に入れた人材確保を行っている点が評価できる。今後も人材の質にこだわりながら利用者へのサービスの安定に努めていただきたい。
- ・中重度者を積極的に受け入れている点が評価できる。
- ・利用者満足度調査において、法人による自己の調査のみとなっているため、客観的な評価となるよう、第三者評価も引き続き検討していただきたい。

